



NO.911  
2013/3/24  
発行所  
日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三二一四四五八  
F四三二一四四五七

# 3月議会終わる 日本共産党議員団は

## 平成24年度一般会計予算と 7特別会計予算に反対

3月1日に開会された第1回定例議会は21日に閉会になりました。378億円まで膨れます。これに特別会計の22億円、上水道の62億円、下水道の99億円を足すと、なんと584億円になり、市民一人当たり昨年と変わらない152万円となります。

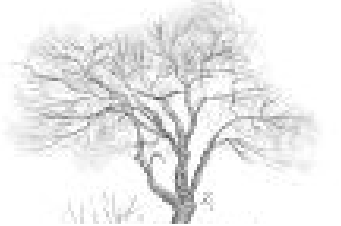
日本共産党議員団は、代表質問と予算審査等特別委員会の質疑を通じて、一般会計予算と7特別会計予算に反対しました。

### 反対のポイント

網走市の財政は、9年間決算での基金(貯金)からの持ち出しをしない単年度黒字を強調して、今年度も予算を組んでいます。その一方で、過去の身の丈を超える国いなり大型開発事業での借金返済に市民への痛みと職員削減の行政改革で乗り切ってきたのが実態です。

### 私たちが厳しい状況に 変わりないと言った訳は!

平成24年度末の一般会計の借金残高は、366億円まで減りましたが、債務負担行為という借金と基金という



環境を保障するため無料化の拡大をすべき。管内のほとんどの市町村で実施しているし、1600万円あれば実現できる」と迫りました。

水谷市長は、「病気の予防対策や24時間電話健康相談など、バランスのとれた対応が必要だ。小児科の医師が多忙であり、小児医療を守ることが一番重要として、今のところ無料化拡大はしない」と答弁しました。

松浦議員は、水谷市長に対して「予防医療は大事だが、24時間・電話サービス事業でコンビニ受診は抑制出来ても病気は直すことはできない。安心して子育てできる環境づくりには乳幼児医療費無料化拡大は必要。今後とも、議論をして無料化拡大を要求していく」と決意を新たにしています。

次号からは、反対討論のポイントを紹介いたします。



### 松浦奮戦メモ

3月議会も21日に終わりました。予算審査等特別委員会は5日間にわたって行われ、共産党議員団は連日質問に立ちました。5日目の網走港整備特別会計では港湾の利用状況を質疑しました。昭和63年に改定した計画では外国からの荷揚げ80万トン、国内からの荷揚げ200万トンでした。

その後、2回の改定で外国20・6万トン、国内64・6万トンまで利用目標を下げましたが、利用状況は外国46・6%、国内58・9%と目標の約半分です。また、昭和63年の利用目標から見ると外国12%、国内は19%の利用状況です。いかに港湾計画が過大な見積もりでつくられたのかが分かります。

赤字も15億円もあり土地が売れなければ赤字は減らないことから、第2の能取になりかねません。共産党は計画当初から問題点を指摘して反対してきた会計ですが、今年も反対しました。

### 流水

年はとりたくないなあ!とつくづく感じる。2月21日、自室で掛け布団に足をとられ転倒、大腿骨頸部骨折で入院したことだ。若い頃は踏ん張る力もバランスをとる感覚もあつたのに今は無抵抗でダイナミックに跳んだ。病室で明日の手術に思いを巡らせていると緊張して喉がカラカラ。お茶がストロー付きのコップに用意されているが横臥位で飲むのはつらい。でも脱水状態になつてもヤバイ。慎重に一口、口に含みグイと飲み込むと気管に入りむせる老人にありがちな事だがやっぱり年をとるのは嫌だなあと思う。高齡化が進んで様々なお年寄りがいらつしやるが崇高な研究を続ける百歳の先生、又、キンさんギンさんの4人の娘さん達。テレビで言いたい放題しゃべってお元氣そう!でもこんなお年寄りは数少ないのでは:多くは転ばないように子どもには世話をかけないようにと控えめでトラブルにも気をつけている。

▼今回の骨折で色々考えてみた。身体が衰えるのは当たり前。でも成行きに任せず「若い」に反抗してみたいかがでしよう。①身体を動かす②献立など考えて頭を使う③手芸や畑仕事で指先を使う④友人と世間話をして大声で笑うなど▼年を重ねる事は人間の行く道。きつと高齡者が安心して楽しい人生だったと思えるような福祉の行き届いた社会でないと本当に良い国とはいえないのでは。(U)